

AOI TYO Holdings

第4期 第2四半期

Business Report

2020.1.1 - 2020.6.30

証券コード: 3975



未来を、感動を、人を、プロデュース。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は昨年、中期経営方針として「いかなる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けること」を目標に掲げ、実現に向け邁進してまいりました。

そして今、世の中は新型コロナウイルスという未知の感染症の脅威に直面し、状況が大きく変わってきています。この時代の変革に対応すべく、この度中期経営計画を策定いたしました。2025年をゴールにAOI TYOグループの新たなスローガンを掲げ、突き進んでまいります。

スローガン:「未来を、感動を、人を、プロデュース。」

「未来を」は成長領域へのチャレンジ、「感動を」は強みの一層の深掘り、「人を」は資産である人が成長する場、これらをグループ社員一丸となりプロデュースし、企業成長を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の流行により、当第2四半期の業績はきわめて厳しい結果となりました。今後も、感染拡大の収束が見通せない中、企業の広告需要減少の影響

は避けられないと考えられます。しかしその一方で中長期的には、情報通信技術の進化、メディアの多様化、ポストコロナ社会における行動様式の変容等の変化のスピードが加速していく中で、企業と生活者のエンゲージメントを深めるための映像を中心としたコミュニケーションツールの企画・制作に対するニーズが高まっていくことは確実です。こうした変化は当社にとって事業拡大のチャンスでもあります。

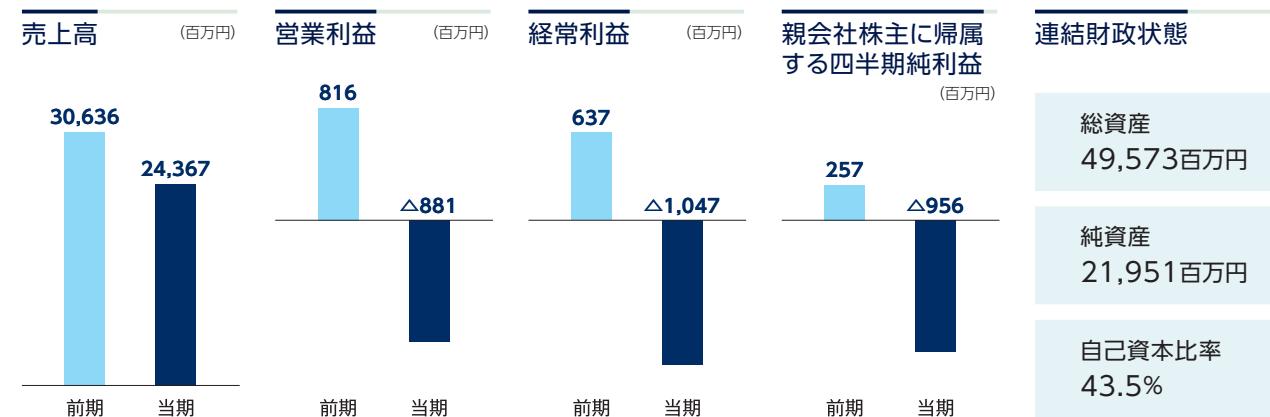
また今回の中期経営計画では、「グループ全体のプロデュース機能のアップデート」をテーマに事業セグメントの再構築を重点施策に掲げ、当社グループの大幅な組織再編を実行します。グループ全体をコンテンツプロデュース事業とコミュニケーションデザイン事業の2事業体制に集約し、グループ社員一丸となって企業価値の向上に努めます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 CEO
中江 康人

POINT

- ▶ 売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく減少
- ▶ 利益面でも、売上高の減少が大きく響き、各段階利益は損失を計上



※前期:2019年12月期 第2四半期、当期:2020年12月期 第2四半期

連結財政状態
総資産 49,573百万円
純資産 21,951百万円
自己資本比率 43.5%

事業区分	売上高	概要
▶ 動画広告事業	16,882百万円 (前年同期比 △21.2%)	緊急事態宣言下での撮影・編集スタジオの臨時休業や撮影を伴う案件の中止・延期等により売上高が減少したほか、経済活動の停止、先行きの不透明感などから受注も大きく落ち込みました。
▶ 広告関連事業	2,875百万円 (前年同期比 △33.5%)	各種イベントの中止・延期が相次いだことから売上高は大きく減少しています。
▶ ソリューション事業	3,391百万円 (前年同期比 +0.2%)	クライアントとの直接取引が拡大しており、コロナ禍においても前年同期並みの売上高を確保しました。
▶ 海外事業	1,219百万円 (前年同期比 △18.4%)	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、海外でもロックダウン等による影響が出ました。

2020年12月期 通期連結業績予想

当社では、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2020年12月期通期連結業績予想を「未定」としておりましたが、第2四半期の業績を踏まえつつ、足元の事業環境や受注動向の分析を進めた結果、通期連結業績予想の算出が完了したため、8月24日に業績予想の修正を公表いたしました。

当社グループでは、日本政府の緊急事態宣言下においては、従業員を原則在宅勤務とし、撮影・編集スタジオの臨時休業や、撮影を伴う案件の広告会社・広告主に対する延期要請などの措置を講じ、第2四半期の新型コロナウイルスの影響による各種案件の延期・中止に伴う売上減は5,400百万円程度（うち7割程度は第3四半期以降への延期）となりました。一方、緊急事態宣言下における経済活動の停止、新型コロナウイルス感染拡大による先行きの不透明感等により受注高も大きく落ち込み、第2四半期末の受注残高は前年同期末比1,090百万円減の14,029百万円にとどまりました。

5月25日の緊急事態宣言の解除後は、安全に制作業務を遂行するための新しいスタンダードを適用し、業務を再開させましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束が未だ見通せない中、今後も商業施設の営業自粛や外出自粛等の感染拡大防止の取り組みが経済活動の抑制に作用し続けると想定され、国内外の経済情勢・企業収益の悪化に伴い、足元においては企業の広告需要が減少する可能性が高いため、第2四半期における受注高がボトムにはなるものの、現時点においては、第3・第4四半期における受注高の大幅な回復を見込むのは難しいと考えています。

こうしたことから、第3・第4四半期の売上高は第1・第2四半期に比べて増加はするものの、営業利益が黒字化する水準までには至らないものと予想しております。

※今回公表する通期連結業績予想においては、現在の新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う経済活動の状況が少なくとも年内は継続されると想定している一方で、さらなる感染拡大により再度、日本政府の緊急事態宣言が発出され、第2四半期と同様に受注案件の延期・中止が行われるような状況は想定していません。

1株当たり配当金

通期連結業績予想は親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見通しであるものの、第2四半期の業績がボトムであり、今後は徐々に回復が見込まれます。そのため、当期の期末配当予想につきましては、連結配当性向30%以上を基本方針としつつも安定的な配当水準を可能な限り維持する観点から前期実績の12円を維持することとし、1株あたり年間配当金12円（期末配当金12円）といたします。

売上高	50,000百万円
営業利益	△1,400百万円
経常利益	△1,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,500百万円

	中間	期末	合計
2019年12月期	8円	12円	20円
2020年12月期	—	12円 (予定)	12円 (予定)

新型コロナウイルス感染症への対策

当社グループでは従業員・取引先・関係者の安全・健康確保を最優先し、新型コロナウイルス感染症に対するグループ方針を策定するとともに、従業員としての基本行動を明示しています。

特に広告映像制作における撮影・編集等の業務は「3密」に該当する場合も多く、緊急事態宣言の解除後は、国や各自治体による一連の情報と国内外の様々な映像制作のガイドライン事例に加え、医療コーディネイト会社とアドバイザー契約を締結し、制作業務に関する独自のガイドラインを作成、撮影時には医療従事者を含む衛生対策管理チームを帯同させ、体調確認、定期的な消毒・換気の実施・確認を行うなど、感染拡大防止対策を講じたうえで、撮影・編集等の業務を行うとともに、新たにリモートでの動画制作手法の導入も進めています。また、引き続き在宅勤務／リモートワークを推奨するとともに、出社する際は時差出勤や分散出社を実施しています。

今後も引き続き以下のような様々な取り組みを行うとともに、従業員は感染リスクの低減、安全を最優先に努めてまいります。

グループ会社での取り組み

医療アドバイザー契約と制作ガイドラインの策定

撮影や編集等に携わる関係者の安全衛生を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策における医療アドバイザー契約をAOI Pro.およびTYOにて締結。医療・感染予防のエキスパートの監修のもと、制作現場でのガイドラインを策定・運用し、安全対策を講じて業務を進めています。

「NEW-NORMAL ZEO Online Event」

イベント、カンファレンス事業を主とするゼオでは、オンライン上で企業のマーケティング、営業活動を支援する大規模カンファレンスを実現する「NEW-NORMAL ZEO Online Event」サービスを開始しました。



「フルリモート動画制作プラン」

AOI Pro.のビデオグラファー（VG）チームでは、オンライン上で完結する「フルリモート動画制作プラン」を提供。企画・演出・撮影・編集をワンストップで行うVGの強みを活かし、動画制作を行います。

フルリモート
動画制作プラン
Produced by AOI/VG

「Remote World」

TYOでは、海外での撮影を日本からリモートでディレクションし、企画から編集まで遠隔／インターネット経由で仕上げるプロジェクト「Remote World」を推進。「撮影のNew Normal」構築を目指します。

当社は2019年3月に“いかなる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けること”を基本方針とする中期経営方針を策定しましたが、それを加速させるべく、昨今の事業環境や広告主のニーズを踏まえて①グループ一体経営、②「掘り下げる・広げる」の事業展開方針に沿った事業および組織、という二つの観点から今後の当社グループのあり方について議論を進め、2021年度から2025年度の5ヵ年を対象とする中期経営計画を策定しました。

テーマ グループ全体のプロデュース機能のアップデート

重点施策「事業セグメントの再構築」

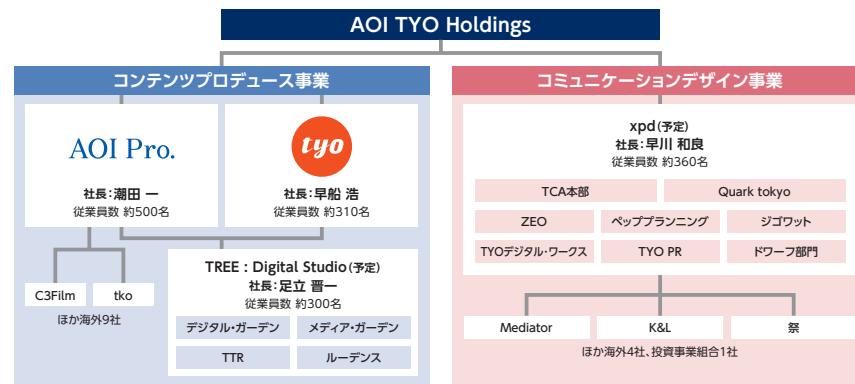
1. 事業・組織構造の変革 グループ全体を以下の2事業体制に集約し、セグメントを変更

コンテンツプロデュース事業

- 広告会社を主な顧客として、広告映像制作、ポストプロダクションを手掛ける

コミュニケーションデザイン事業

- 広告主との直接取引を中心に、ソリューション提供、ならびにPR・イベント等を手掛ける



2. 各事業における取り組みの明確化

コンテンツプロデュース事業

- 新規案件・デジタル案件の受注強化など受託事業のテコ入れ
- 低単価デジタル案件の取り込み（※人材育成のため、グループ会社で始めている取り組みを次ページでご紹介します）
- ポストプロダクション事業の多角化 ● VR・ARを含むXRコンテンツの企画、制作

コミュニケーションデザイン事業

- リピート顧客層の拡大 ● プロモーションに係る全施策の請負
- 統合型マーケティング・コミュニケーションサービスの提供

3. グループ経営の深化・強化

- オフィス集約や業務効率化を軸に最大20億円（2022年度）のコスト削減
- 人材マネジメント方針に基づいた人事プラットフォームを構築し、社内公募・人材交流制度でグループ内での成長の場を提供
- システム統合・電子化等の整備を進め、リモートワークを推奨

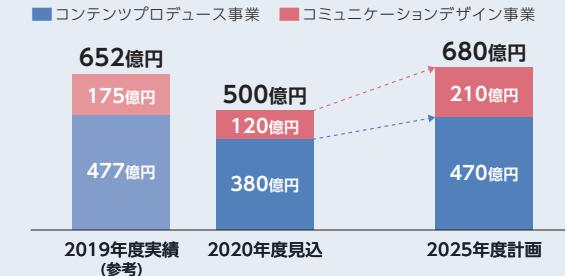
株主還元

引き続き、連結配当性向30%以上を基本方針とし、恒常的な企業価値向上を目指しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うという観点を踏まえ、業績に応じた適正な利益配分を実施します。

▶ KPIと2025年度業績計画

財 務	EBITDA: 57億円	ROE: 10%以上
非 財 務	従業員のエンゲージメント向上/SDGsへの貢献	
業績計画	連結売上高: 680億円	連結営業利益: 44億円

連結売上高



グループ会社での取り組み「AOI Film Craft Lab.」

AOI Pro.は2020年7月、映像クリエイターを目指す学生、技術向上や業界との繋がりを求めるセミプロを対象に、一流映像作家や広告クリエイターによる講座を提供し「日本で一番贅沢な、映像の現場体験の学びの場」を目指す、サブスクリプション型映像クリエイター養成コミュニティ「AOI Film Craft Lab.」をスタートしました。

これまで培ってきた知見と社内外の人材を活かし、映像プロダクションAOI Pro.だからこそ提供できる最大の価値「現場体験の場」により、業界を牽引できる次世代の映像クリエイターの養成と活躍支援をしていきます。



Works
制作実績

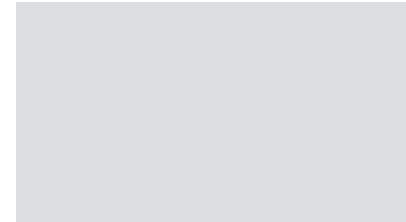
AOI Pro.

※著作権保護のため、作品画像の
WEB掲載はしていません。

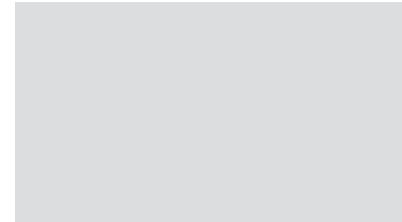
KDDI au PAY カード
「大黒天カード」

資生堂ジャパン マキアージュドラマティックスタイリングアイズ
「二つの運命のブラウン」

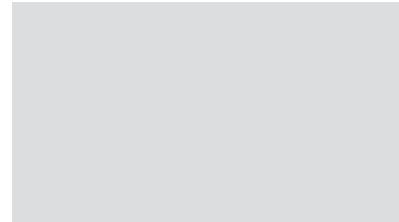
トヨタ自動車 トヨタタイムズ
「トヨタグローバル拠点テレ取材」



サントリーコミュニケーションズ
ティーチャーズ 「TEACHER'S先生のこだわり」



Uber Eats Japan
「盆栽」



ゼスプリ インターナショナル ジャパン
ゼスプリ キウイ 「好きなことを楽しみながら」



©2020「喜劇 愛妻物語」製作委員会

映画「喜劇 愛妻物語」

2020年9月11日公開
AOI Pro.出資・制作
「百円の恋」で日本アカデミー賞最優秀
脚本賞を受賞した足立紳さん原作・脚
本・監督の本作は、「第32回東京国際映
画祭」コンペティション部門最優秀脚本
賞を受賞。結婚10年目で倦怠期の夫婦
役・濱田岳さんと水川あさみさんが繰り
広げる痛快コメディです。



©2020「泣く子はいねが」製作委員会

映画「泣く子はいねが」

2020年11月20日公開
AOI Pro.出資・制作
是枝裕和監督がその才能に惚れ込んだ
佐藤快磨監督のオリジナル脚本で、劇場
映画監督デビュー作となる本作は、「第
68回サン・セバスティアン国際映画祭」
オフィシャルコンペティション部門に
出品が決定。スペイン最大の映画祭で
ワールドデビューを果たします。

Works
制作実績

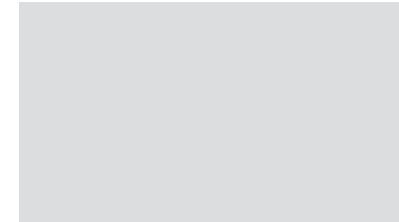
TYO

※著作権保護のため、作品画像の
WEB掲載はしていません。

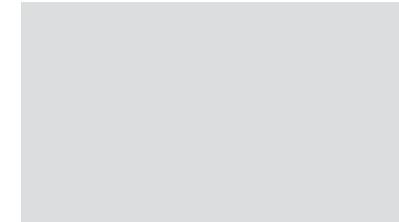
メルカリ
「メゾンメルカリ・管理人登場」

サッポロビール
エビス 「金のココ」

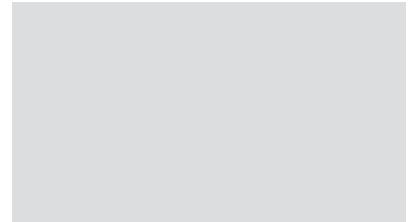
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン
レノアアロマジュエル 「フラワーベッド」



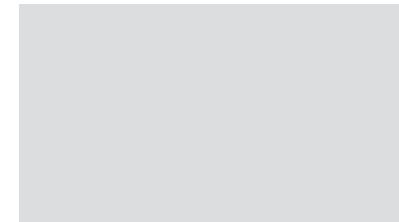
丸美屋食品工業
丸美屋 釜めしの素 「味方」



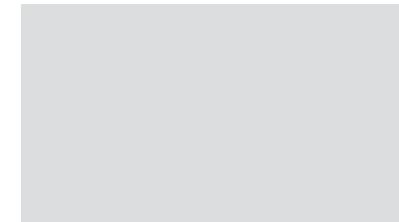
森永乳業 MOW
「アイス屋MOW 素材本来の、自然なおいしさ」



カネボウ化粧品 カネボウ
KANEBO BRAND CONCEPT MOVIE

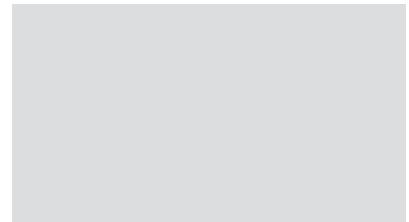


ニコニコ ブランドムービー
「ニココンの挑戦」



日本放送協会
どーもくん 「スマホでも」

©NHK・TYO



ユニバーサル ミュージック 森山直太郎
「すぐそこにNEW DAYS」ミュージックビデオ

2020年度 体験型オリジナル株主優待中止のお知らせ

当社では従来より体験型オリジナル株主優待として毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式500株以上を保有する株主様を対象に、抽選で当社グループ見学会およびワークショップへのご招待を実施してまいりましたが、2020年5月29日に公表しましたとおり、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験型オリジナル株主優待は中止といたしました。

株主優待制度一部変更のお知らせ (■は変更箇所)

今後とも当社株式を中長期的に保有していただくことを重視するとともに、長期保有いただいている株主様に対してご支援にお応えすること等を目的として、2021年度より、継続保有の株主様を対象とした株主優待制度へ変更いたします。

(1) 対象となる株主様

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式500株以上を1年以上継続して保有する株主様。継続保有期間1年以上とは、毎年6月30日および12月31日の当社株主名簿に同一の株主番号で、500株以上の保有が3回以上連続して記載または記録された株主様といたします。なお、各基準日における保有株式数が一度でも500株を下回った場合は対象外となります。

(2) 株主優待の内容および贈呈時期

保有株式数および継続保有期間に応じて、毎年9月中旬発送予定の株式関係書類に、贈呈商品(オリジナルクオカードまたはオリジナル優待カタログ)および体験型オリジナル株主優待のご案内を同封いたします。

① 優待品贈呈				
保有株式数	優待内容	金額	継続保有期間	
			1年未満	1年以上
500株以上	オリジナルクオカード	3,000円分	—	○
1,000株以上	オリジナルクオカード	5,000円分	—	○
2,000株以上	オリジナル優待カタログ	10,000円相当	—	○
② 体験型オリジナル株主優待 (応募・抽選)				
保有株式数	優待内容		継続保有期間	
			1年未満	1年以上
500株以上	体験型オリジナル株主優待		—	○

次の事項に該当する場合、株主番号が変更となる可能性がありますのでご注意ください。株主番号が変更になった場合は、変更後の株主番号における継続保有期間により判定いたします。なお、株主番号の変更の有無につきましては、株式をお預けの証券会社にお問い合わせください。

(ア) 株式の名義人の変更

- 相続 ● 証券会社の貸株サービスの利用
- 株主の親権者および後見人等の法定代理人の変更・解除 など

(イ) 全株式売却後の買戻し

- 証券会社の変更 ● NISA口座への移管 など

※ 今後の株主優待の実施につきましては、株主様への利益還元、業績および市場環境等を総合的に勘案したうえで変更することがあります。

会社概要 (2020年6月30日現在)

社名	AOI TYO Holdings株式会社
社名(英語表記)	AOI TYO Holdings Inc.
設立	2017年1月4日
資本金	50億円

役員 (2020年6月30日現在)

代表取締役社長 CEO	中江 康人	社外取締役(監査等委員)	萩原 義春
代表取締役副社長 COO	上窪 弘晃	社外取締役(監査等委員)	高田 一毅
専務取締役 CFO	譲原 理	社外取締役(監査等委員)	小久保 崇

株式の状況 (2020年6月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,566,447株
株主数	16,170名



大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社コスモチャンネル	1,153,740	4.83
株式会社IMAGICA GROUP	1,018,000	4.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	807,400	3.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	669,900	2.81
フィールズ株式会社	479,660	2.01
竹林 嘉浩	478,100	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	417,500	1.75
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	411,200	1.72
原 仁	400,000	1.68
クレディ・スイス証券株式会社	340,500	1.43

※持株比率は自己株式(691,252株)を控除して計算しております。

※株式会社コスモチャンネルの持株数には日本証券金融株式会社との株式貸借契約に基づく貸株320,900株を含めて記載しております。

IRカレンダー



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (コード：3975)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL http://aoityo.com/ja/ir/publicnotice.html

メール配信

当社の最新のIR情報をEメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。
下記よりご登録いただけます。

<http://aoityo.com/ja/ir/irmail.html>

※携帯電話用メールアドレスでの登録はできません。



AOI TYO Holdings株式会社

141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5階
03-6893-5005 (代表)
<http://aoityo.com/>

